

令和6年度学校評価のアンケートについて

令和7年2月 認定こども園専修大学北上幼稚園
園長 小原 栄子

保護者の学校評価アンケートには、多くの回答（197名中185名回答：回答率94％）ならびに貴重なご意見（記述57件）をいただきました。

【回 答】

回答欄に1～4の数字でご回答ください。よくわからないところは空欄にしてください。

- | | |
|------------------|------------|
| 1 そう思う | 2 おおむねそう思う |
| 3 どちらかといえばそう思わない | 4 そう思わない |

集計結果から見てきたことについて、下のとおりまとめました。

- 1 学校関係者評価のアンケートは、「そう思う」+「おおむねそう思う」と回答した方が、全ての項目で96,8～100%の高い評価でした。

特に

- （1）100「保育者は、すすんであいさつを心がけ、子どもに温かい言葉遣いで接している」
 - （2）「保育者は、子どもの目線に立ってわかるように話し、子どもの意欲や自信を育てるように声かけや支援に努めている」
 - （3）「保護者は、園の教育・保育方針や運営方針に関心を持っている」
 - （4）「様々な行事は、子ども達の様子や成長が分かり、保育の意義（学びや遊びの大切さなど）を知る」
 - （5）「園は、園全体で子どもの保育に取り組んでいる」
 - （6）「家庭では、おはよう、いただきます、おやすみなさい、ありがとう等の挨拶を励行している」
- （1）（2）（3）は100%でした。

- 2 「1 そう思う」と回答をいただいた項目の割合が高い順

- （1） 88.6% ⑩「園は、施設設備（保育室・園庭等）や教育環境の充実に努めている」
- （2） 88.1% ⑥「様々な行事は、子ども達の様子や成長が分かり、保育の意義（学びや遊びの大切さなど）を知る」
- （2） 88.1% ⑩「保育者は、すすんであいさつを心がけ、子どもに温かい言葉遣いで接している」
- （4） 87.6% ⑪「園は、清掃や整理整頓が行き届いている」
- （5） 85.4% ⑦「園は、園全体で子どもの保育に取り組んでいる」

- 3 「4 そう思わない」「3 どちらかといえばそう思わない」と回答をいただいた項目の割合の低い順

- （1）3,2% ⑫「家庭では、ふわふわ・ちくちくことばの理解をして言葉に気をつけている」
- （2）2,7% ⑫「保護者は子育てについて身近な人に相談している」

4 まとめ

学校評価のアンケートの回答率 94 パーセントという数値は、最近では一番高いです。上の結果のとおり、「保護者は、園の教育・保育方針や運営方針に関心を持っている」が、上位に入っています。保護者の皆さんは、こども園に大きな期待を持っていることがわかりました。園は、学期毎に反省を行い、改善を図っています。また、1～3 月には、一年間の反省をして次年度の計画を立てます。計画は、教育・保育目標を具現化し、方針に沿って立案し、「子どもの権利と尊厳を守り、安心と挑戦の循環」を通して子どものウェルビーイングを高めたいと思っています。

アクティブラーニングの実践研究は、今年で 2 年目です。お分かりの方も多いと思いますが、アクティブラーニングとは「主体的、対話的な深い学び」のことを言います。これは発達段階に応じて行います。子ども達の「やりたい」好きな遊びを探り、友だちと交流しながら「こまが回せるようになって嬉しい」「なわとびができるようになった」更に「どうやったらもっと回せるか」「長くとぶためにどうしたらいいか」等、「なぜ」「どうして」が出てくる活動を考える子どもに育てていきたいです。小学校に進んだ時にも大いに役に立つと考えます。

家庭での挨拶がしっかり行われている様子がアンケート結果から分かります。親子でおはよう、ただいま、おやすみなさい、ありがとうの挨拶を交わし、生活しているというのは幸福（ウェルビーイング）を感じます。

また、「ふわふわ言葉」「ちくちく言葉」についても、園のグランドデザインの重点にあるように「自分も相手も大切にすることと同じで、一人一人が自分の良さや可能性を認識するとともに、子どもにも大人にも人権を守る価値ある存在として尊重することが重要です。

運動会や発表会をおうちの方々に見ていただきました。運動会ときは、保護者皆さんの拍手をいただき、子どもたちの意欲が高まっており、一人一人が輝いておりました。子ども達の表現には驚かされます。運動会も発表会も素晴らしかったです。

今、いろいろな分野で人権について報道されております。園では今年度も全職員に対して「幼児教育に係る人権チェックリスト検査」を実施し、園児の人権に対する理解を深め、人権を守る意識の向上を図っています。昨年、「バス安全装置」を取り付けるなど送迎バスの乗降における人員確認も行っています。

体力づくりについては外部講師を招聘し 4, 5 歳児に「かがやき kids 教室」2, 3 歳児「うんどう教室」を行っております。幼児期にもっとも伸びる体力として「調整力」が上げられます。調整力とは、平衡性、巧緻性、敏捷性（柔軟性）などをいいます。神経の働きによって、運動中の姿勢を調整してバランスをとったり、運動を機敏に、上手に行ったりする能力です。調整力が高まると、いろいろな運動やスポーツを上手に行うことができるようになります。いろいろな動きを通して体力づくりをしています。年長さんになると体の身のこなし方が違います。

保護者の皆様のご要望やお気付きの点、お子さんの家庭での様子や感謝の言葉等、貴重なご意見・ご感想を頂戴いたしました。この度のアンケートでお寄せいただいたご指摘やご提言に関しましては、職員全体で共通理解を図るとともに、今後の園運営改善に役立てて参ります。ご協力大変ありがとうございました。